

# テレビ静岡 平成27年12月度 番組審議会概要

平成27年12月10日(木)

14時00分～15時00分

テレビ静岡本社

## — 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子

木村 精治 上柳 正仁 深山 茂 藤田 尚徳

## — 議 題 —

番組名 「週3日の平和資料館」(戦後70年特番)

放送日時 平成27年11月8日(日) 25時30分～27時00分

## — 番組内容 —

今日の番組審議は、11月8日の深夜に放送した、戦後70年特別番組「週3日の平和資料館」について審議した。番組は、5月に放送された「静岡平和資料センター」のその後の活動取材し、今後の歴史教育について考える内容。

## — 審議概要 —

◎「戦争体験者が年々少なくなる中、番組として記録に残すことは意義があると思う」

関連意見

「本や文章よりも、映像のほうが記録として力があると感じた」

◎「戦争の資料展示に携わる人の、世代間の葛藤が見事に表されていた」

関連意見

「世代間の意見の違いがわかり、現代社会の抱える問題も提起されていた」

◎「登場人物が多かったことで、かえって戦争は一口では語れないということを訴えていたように感じた」

関連意見

「登場人物が多く、目を離すと理解できなくなってしまうところがあった」

◎「大学生が遺骨を収集する姿、探究心が、今の時代に受け継がれていることを知り、感心させられた」

- ◎「ナレーターの間取り方がよく、しっかり考える時間がもてた」
- ◎「被害者としての日本を考えるとともに、加害者としての日本についてもメッセージがあったと思う」
- ◎「訪れた子供が、真剣な顔で展示を見ていた。それを捉えたカメラワークは非常に良かった」
- ◎「テレビは作り物と思っていたが、ごく自然に素直に見ることができた」
- ◎「制作者の想い、制作意図がしっかりと伝わる番組」
- ◎「戦争の記憶を初めて語った人がいた。「思い出したくない」という気持ちがあって、今まで語れなかったということが痛いほど理解できた」
- ◎「私たちも戦争を担ったという事務局長の主張に、参加者の意見が分かれたが、考え方をしっかり伝えたことはよかったと思う」
- ◎「資料館や戦争について、一般市民の意見を聞いてもよかったのではないかな」
- ◎「戦争がメインなのか、資料館がメインなのか、視聴者に考えさせたいのか、訴えたいのか、わかりにくかった」
- ◎「静岡空襲の映像がないため、体験者の絵を紹介していたが、絵の説明表記がないと理解しにくい」
- ◎「戦争をしてはいけないということについて、TV局としてのメッセージがあってもよかったのではないかな」
- ◎「安保法案成立イコール戦争のできる国、と思っている人ばかりが出ていたように思う。まずいのではないかな」
- ◎「途中のCMが下品。番組が台無しになって残念だと思う」

次回の番組審議会は平成28年1月21日（木）の予定。